

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成28年2月19日

計画の名称	吉備中央町における、安全で快適な魅力ある水環境づくり（防災・安全）							重点計画の該当	
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）			交付対象	吉備中央町				
計画の目標									

計画的な長寿命化対策を行い、安全で快適な魅力ある水環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

①処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率を0%（H28）から100%（H31）へ増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

①処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済み処理場・ポンプ場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理場・ポンプ場数（箇所）	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	
	0%	0%	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	60	A	60	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	----	---	----	---	---	---	---	---	---	-----------------------------	------

交付対象事業

A1 下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31			
A1-8-1	下水道	過疎	吉備中央町	直接	—	水セ	改築	吉備高原浄化センター	長寿命化計画策定・設計	吉備中央町					15		長寿命化
A1-8-2	下水道	過疎	吉備中央町	直接	—	水セ	改築	吉備高原汚水中継ポンプ場	長寿命化計画策定・設計	吉備中央町					15		長寿命化
A1-8-3	下水道	過疎	吉備中央町	直接	—	水セ	改築	吉備高原浄化センター、汚水中継ポンプ場	地震対策	吉備中央町					30		
											合計			60			

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H28	H29	H30	H31		
											合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H28	H29	H30	H31		
											合計				

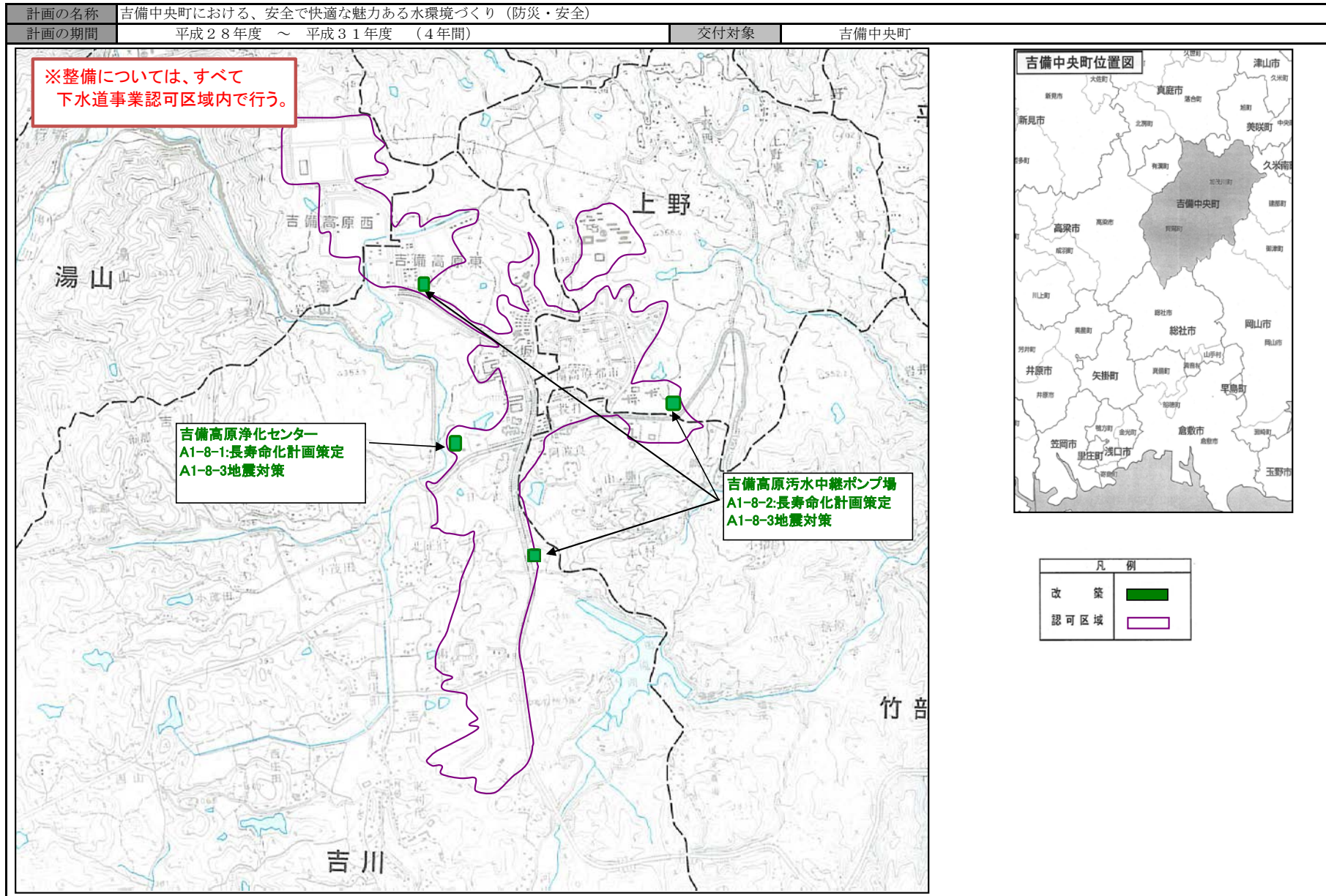
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考	
									H28	H29	H30	H31			
											合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(下 水 道 事 業)

計画の名称: 吉備中央町における、安全で快適な魅力ある水環境づくり(防災・安全)

事業主体名: 吉備中央町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①個別処理との経済比較に関する上位計画等との適合	
1) 都道府県構想(クリーンライフ100構想)に適合している。	○
2) これまで行ってきた、「下水道事業の整備効果向上を図るための事業の再点検(4つの点検)」の実施結果を反映している。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
2) 下水道整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と下水道事業認可区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5) 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	-
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	-
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 計画および実施に関し、住民等に対する事前説明が行われている。	○
3) 計画および実施に関し、住民等との間で合意が形成されている。	○

(○は適、×は不適、-は該当なし)